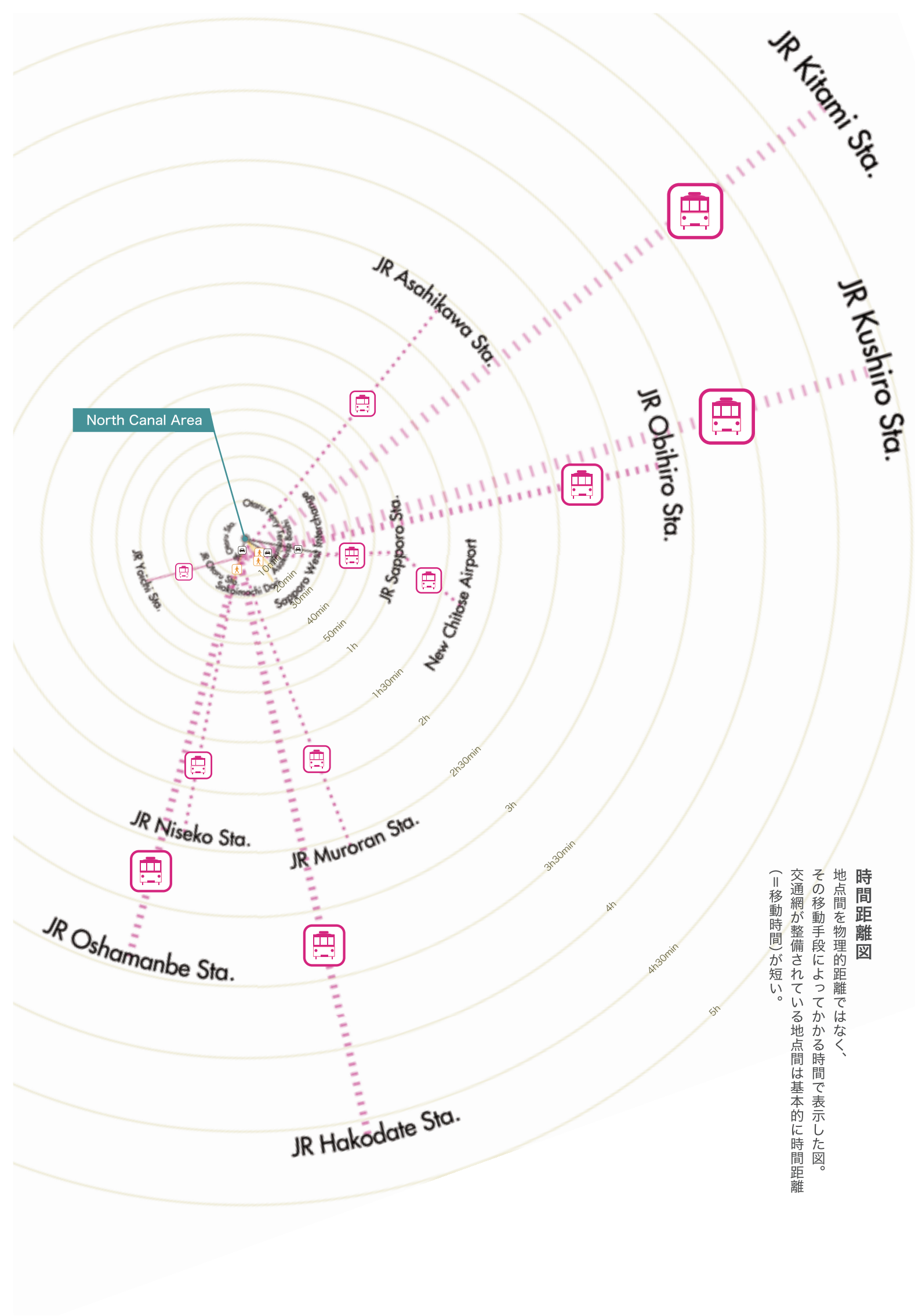


北運河および周辺地域 観光戦略プラン



時間距離図
地点間を物理的距離ではなく、
その移動手段によってかかる時間に表示した図。
交通網が整備されている地点間は基本的に時間距離
（＝移動時間）が短い。



いまなぜ

北運河か

道道小樽臨港線と並行して南北に続く小樽運河。

北へ進む道路は西側へカーブし余市方面に向う一方、運河は尚も北へ続く。

その先の運河は『北運河』と呼ばれ、観光の顔として知られる小樽運河とは違った、

小樽の原風景をひっそりと、だがしかし色濃く残す場所になっている。

近年北運河を含むこのエリアで「胎動」とも言える動きが起こり始めている。

胎動に牽引されるかのように動き始めた変化、経済活動、そして未来をめぐって、

「小樽らしさ」と「観光都市として歩むべき方向性」を議論する、





小樽のまちづくり第2章がこの場所から始まっている。



北運河および周辺地域観光戦略プラン

— いまなぜ北運河か —

目 次

2	 これまでの北運河
	小樽運河と観光の歴史
4	小樽運河の建設と埋立地
	北運河と北海製罐の建物群
5	旧日本郵船(株)小樽支店と運河公園
	旧国鉄手宮線
6	北運河地区と周辺の歴史的建造物
8	 現状の北運河
	小樽観光の課題と北運河への着目
9	小樽市を訪れる観光客数
	小樽市の人口変遷
10	 北運河で大事にすべきこと
	まちづくりとシビックプライド
11	場所のらしさと上質さ 街のデザインコード
12	自力としての観光都市へ 連鎖的・段階的観光戦略の必要性
13	守って残す 使って稼ぐ サービスとホスピタリティ
14	“胎動”
16	 これからの北運河
	これからの北運河を考える3つの軸
18	北運河デザインコードと デザイン戦略10か条
19-29	ゾーニングプラン
30	“未来へ”
32	北運河および周辺地域観光戦略プラン 策定協議会からの提言
33-36	付属資料

-小樽運河へのアクセス-
JR小樽駅より小樽運河へ徒歩8分

